

2020年9月11日

横浜ゴム、インドにオフハイウェイタイヤの新工場を建設

横浜ゴム（株）は、農業機械用タイヤなどオフハイウェイタイヤの生産販売グループ会社である ATG（アライアンスタイヤグループ）の生産能力の増強を図るため、インドの Atchutapuram（アチュタプラム）工業団地（アンドラプラデシュ州ヴィシャカパトナム）に新工場を建設します。日量の生産能力は 55 トン（ゴム量）で、設備投資額は 1 億 6,500 万米ドル。2020 年第 3 四半期に着工し、2023 年第 1 四半期からの生産開始を予定しています。

ATG は現在、インドに Dahej（ダヘジ）工場（グジャラート州）と Tirunelveli（ティルネルヴェリ）工場（タミル・ナドゥ州）を有し、主カブランドである ALLIANCE（アライアンス）、GALAXY（ギャラクシー）、PRIMEX（プライメクス）の農業機械、建設車両、産業車両、林業機械用タイヤなどを生産しています。世界的な需要増を背景に、2018 年 2 月から進めてきたダヘジ工場の生産能力を 1.6 倍に引き上げる拡張工事を完了しておりますが、ますます増加が見込まれるオフハイウェイタイヤの需要に対応するためには新工場建設が必要との判断に至りました。

アチュタプラム工業団地はインド東部のアンドラプラデシュ州に所在し、ヴィシャカパトナム港も近く、輸出についても有利な立地となります。また、新工場の敷地面積は約 32 万 m² で、将来の拡張も視野にいれています。

横浜ゴムは中期経営計画「グランドデザイン 2020（GD2020）」のタイヤ生産財戦略において「オフハイウェイタイヤを成長ドライバーとして次の 100 年の収益の柱へ」を掲げており、当社の建設車両用タイヤに加え、グループ会社である ATG 製タイヤ、愛知タイヤ工業製の産業車両用タイヤなどオフハイウェイタイヤのさらなる事業拡大に取り組んでいます。今回の新工場建設により横浜ゴムグループのオフハイウェイタイヤの供給網はインドに 3 拠点、イスラエルに 1 拠点、ベトナムに 1 拠点、日本に 3 拠点の 4 カ国 8 拠点、日量の生産能力の合計は 480 トン（ゴム量）となり、グローバルでのオフハイウェイタイヤにおける競争力強化をさらに加速させていきます。

<新工場の概要>

会社名：ATC Tires AP Pvt. Ltd.

事業内容：オフハイウェイタイヤの生産・販売

生産品目：「アライアンス」「ギャラクシー」「プライメクス」ブランドタイヤ

敷地面積：約 32 万 m²

日量生産能力：55 トン（ゴム量）

所在地：インド アンドラプラデシュ州ヴィシャカパトナム

このリリースに関するお問い合わせ先

横浜ゴム（株）経営企画部 広報室 担当：赤池、山崎

TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570